

外務大臣の茂木敏充です。

公益財団法人フォーリン・プレスセンターの創立 50 周年と、国際ジャーナリスト会議の開催を、心からお祝い申し上げます。

フォーリン・プレスセンターは、1976 年の設立以来、半世紀にわたり、外国報道機関による取材活動を支え、日本の政策や取組から、日本各地の魅力に至るまで、幅広く日本の姿を世界へ伝える上で重要な役割を果たしてこられました。長年にわたる関係者の皆様の御尽力に対し、深く敬意を表します。

世界は、今、パワーバランスの変化や紛争・対立の激化を受け、大きな構造的変化の中にあります。同時に、SNS や生成 AI の普及などにより、膨大な情報が国境を越えて拡散しています。こうした中、偽情報や誤情報への対応も、国際社会の喫緊の課題となっています。

こうした時代だからこそ、正確な情報と理解に基づく報道がなされることが不可欠であり、報道関係者の皆様の使命と役割は、ますます重要になっています。自由で責任ある報道、信頼の置ける報道は、民主主義を支える基盤であり、また、国際社会における対話と信頼の礎でもあります。外務省としても、これからも、報道関係者との対話を大切にしながら、我が国の考えや取組についての積極的な対外発信に努めていく考えです。

この「国際ジャーナリスト会議」は、現在の国際情勢や情報空間をめぐる状況も踏まえたメディアの今後果たすべき役割について、世界各地で活躍される報道関係者が様々な視点から自由闊達な議論を行う貴重な機会です。

今回の会議の成功と、次の 50 年に向けたフォーリン・プレスセンターの更なる発展を祈念し、私の挨拶といたします。